

QST病院で前立腺の造影MRI検査を行った患者さんへ

量子科学技術研究開発機構では、前立腺の造影MRI検査を行った患者さんの画像データ（後述）を用い、将来的に前立腺癌の画像診断をより精度が高く有用なものにすることを目的として、画像から診断に有用な生体指標を定量評価する技術の開発研究を行います。データはすべて他の情報と照合しない限り、特定の個人を識別できないよう加工いたします。また、この研究が行われることで、現在治療している患者さんの治療方針が変更されることはありません。

この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にもお申し付けください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。

〔研究課題名〕 前立腺ダイナミック造影MRIにおける少数フレームデータに対応可能な血行動態定量法の開発

〔実施期間〕 許可日～2026年3月31日

〔研究機関〕 量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所およびQST病院

〔研究責任者〕 分子イメージング診断治療研究部 小島 隆行

〔研究の目的〕 前立腺のダイナミック造影MRIにおいて、従来よりも短い撮像間隔、撮像時間で得られた少ない画像データから腫瘍の血流機能を高い精度で評価する方法を開発します。

〔研究の方法・データの使用方法〕

●対象となる方々

2013年3月～2023年11月に当院においてダイナミック造影MRI、T2強調画像、拡散強調画像を含む前立腺MRI検査を行った方

●利用する情報及び収集方法

医用画像サーバに保存されている画像情報を収集します。新たな質問や検査はありません。

〔個人情報の取り扱い〕

利用する情報は、お名前などの個人を直接識別できる情報を削除します。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は公表されることはありません。（個人情報保護法及び国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構個人情報保護規程に従い取り扱います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2024年5月31日までに下記窓口にお申し出くださるようお願い致します。2024年5月31日までに申し出くだされば、解析に使用するデータより除外いたします。この期間を過ぎると個人識別できない情報は取り除けなくなることがありますが、個人情報表に出ることはありません。また、ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

〔問い合わせ先：窓口〕

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

量子医科学研究所

分子イメージング診断治療研究部 小島 隆行

電話：043-206-3230（平日9:00～17:00）